

テーマ⑤ 誰もが安心して暮らせるまちづくり

基本的な方針：生活関連施設の配置は、どうあるべきか？

1 生活関連施設・機能の数や配置

(1) 足りない【人口増加に間に合わなかった】

後追いな施設整備	<ul style="list-style-type: none"> 古くから居住していた地域に少ない。その理由は、急激な人口増で、施設計画が開発のスピードに間に合わず、後手に回った結果ではないか
----------	---

(2) 配置が偏っている

3つの地域センター	<ul style="list-style-type: none"> 3つの地域センターで年間2億4千万円の維持費がかかる。一部の利用に偏っているようなので、高齢者といえども受益者負担の原則を通すべきで、公平に利用しやすくすべきだ
3つの地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センターは偏っている。西部やひばりからは遠く不便である。数が少ない
スポーツ・健康施設	<ul style="list-style-type: none"> 既存のは市でも東端に位置して交通の便も悪く、多くのシニアや障害者が通うには雨風の日など困難。介護予防のパワリハなど体力作りのジムに徹した小規模施設を
児童館・地区センター	<ul style="list-style-type: none"> 八幡町1丁目地域には、児童館も地区センターもない
	<ul style="list-style-type: none"> 地域全体で施設利用を考えるべき。行政は総括的に対応 民営化すると利用できる人とそうでない人が出て格差が生じる

(3) 不足しているもの・ほしいもの【交流、介護、映画館、大学 など】

	<ul style="list-style-type: none"> 例えば市役所1階はプラザになっており、誰が行っても集える場所となっている。学生の勉強場所ともなっている。このような場所があると良い。話し合える場所が欲しい 特別養護老人ホームへの待機は380人である。自宅での老老介護は殺人事件まで発展する可能性がある。介護系施設の充実を求める 文化的精神的な面が遅れている。名画座の見られる映画館が欲しい シネコンがほしい 生涯学習センターが欲しい 大学があると良い。大学キャンパスがあると良い 公園が少ない。ポケットパークが欲しい。緑地には人は入りにくい 街なかに高齢者が座れるベンチ。ネーム入りで市民が管理する シルバーピアに対する、市の安心ネット機能が十分でない 第一勧銀グランド跡地に、全国レベルで利用できるスポーツ施設を。また一流の芸術家から市民活動まで多目的に利用できる文化施設を
--	---

2 身近なコンパクトな生活圏の形成【小学校または中学校単位など圏域の範囲、ほしい施設】

(1)小学校または中学校圏単位

圏域の範囲(単位)	<ul style="list-style-type: none">・ 身近で衣食住を済ませたい・ 都市計画のようなゾーニングではなく、小さな拠点からなる圏域づくりが望ましい・ 市の中心である、中央町から東久留米駅周辺に大きな核をおくとともに、市内を小学校単位で分けて、それを1つの圏域として小さな拠点を配置していくという考え方にもとづき計画するのがよい・ 生活圏の単位は小学校よりも、中学校の方が良い・ 圏域はある程度具体的に距離を設定すべきであり、それは徒歩の場合と自転車の場合がある。その中心に一定の施設が集積していることが重要である
-----------	--

(2)生活圏にほしい施設【商店街、出張所など】

ほしい施設	<ul style="list-style-type: none">・ 拠点には商店街や出張所的なものがあるとよい。施設は小さくてもよい・ 拠点はスーパー併設のセンターなどがあってもよいのではないか・ 給食をとる高齢者が増えたが、街なかに出て買い物してもらうことが重要だ
-------	---

3 生活圏をつなぐ交通を【コミュニティバス、福祉タクシー、歩行者・自転車ネットワーク など】

想定される交通手段	<ul style="list-style-type: none">・ 公共交通としてミニバス。ただし最低幅員5.5m必要。4m未満道路の多い地区にとっては幅員は厳しい・ コミュニティバスの導入は緊急課題である。その導入で自動車増は防げるのではないか・ コミュニティバスを導入しても、便利な自動車が使えるままなら、利用する人は限られる・ コミュニティバスを大幅に整備し、100円で運行する・ ミニバスがダメなら福祉タクシーがある・ 企業と連携し、定期券の家族共有ができる仕組みがあると良い・ 歩行者・自転車専用道路を整備する。健康やレクリエーションにもよい・ 高齢者が街なかにもっと出られるよう、ベンチを置く。ベンチは管理する市民のネーム入りで・ 自転車がよい。課題は走行空間の確保。一方で駐輪場の確保も・ 個々の整備が重要であるが、結ばれていなければ効果は低い。緑と徒歩と自転車のネットワークの形成が重要だ・ 自転車の共同利用・ 徒歩圏に色々あるのが良いが、浅間町は地形の関係で歩くのは困難
-----------	---

4 身近な商店街の活性化

(1)大型店にはかかわないけど

大型店にはかかわない	<ul style="list-style-type: none">・ 24時間営業しているスーパーがあり、また、周辺にスーパー4店舗がひしめくようなところでは、商店街がかたくなう訳がない・ イオンが最大の不安である。これが来ると商店街は壊滅状態に陥る。行政はどう対応する・ <u>商店街は現実にはシャッター通りとなっている。大型店舗の出店は、商店街の衰弱を加速させるのではないか。</u>
------------	---

(2)身近な商店街がないと、その姿は【生鮮三品、地域の見守り など】

身近な商店街の姿	<ul style="list-style-type: none">・ 近所の商店街には生鮮三品だけでもあって欲しい。今後高齢化するともっと困る・ 子供が、文房具など気軽に買い物に行ける商店が少なくなった。高齢者も同様・ 生協で宅配してもらっている。商店街でも対応してはどうか・ コンビニが少ない。試算すると市内に後5店舗あってよいはず・ 個人商店も買いに行きたくなくなるような努力はすべきである。もっと地域に根ざすよう地域貢献が必要だ・ 地域の防災や防犯、見守り、福祉、交流などの拠点となるべきである・ 地域とのコミュニケーションがある。地域の資源と位置づけるのが良い・ <u>ひばりヶ丘団地の商店街は、寂れかけてしまっている。</u>
----------	--

(3)商店街の活性化方策

商店街活性化の方策	<ul style="list-style-type: none">・ 商店街の活性化にあたっては、市は国の制度を利用するのが下手である・ 中小企業庁に商店街活性化のメニューがあるため、これを利用するのがよい・ 地域内での縦割りをさけ、農業や企業、町会などとの横の連携が重要である
-----------	--

5 高齢者や子どもが住み続けられるまちに【孤立化防止、地域で子どもを育てる】

	<ul style="list-style-type: none"> 人口予測で何れ減少するとなっているが、魅力あるまちであれば人口は増えるはず。このため、高齢者や幼児、学齢児を含む人たちが暮らしやすいまちづくりが重要
<p>高齢者の孤立化防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市内に独居老人は約6000人いる。孤立化を防ぐ必要がある 独居老人の把握が重要だが、民生委員は高齢化している。拡充が必要。しかし民生委員はなり手がいない。高齢者の見守り活動では、個人情報保護法の壁が立ちふさがる 高齢者は、食事サービスよりも街なかで買う行為が重要である。個別店舗と独居老人とのつながりを重視する施策が地域包括支援センターでアウトリーチとして進められている 本町1丁目の21世帯で、買い物に行けない高齢者に対して、街なかで顔を出してもらおう活動をしている。出すのが困難なら顔を見に行く活動もしている
<p>高齢者の相談機能等の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 独居老人の安心対策としては、亡くなったあとまでのライフサイクルでの相談所があるとよい。特別養護老人ホームの不足や、お墓の問題など深刻である 高齢者はどこに相談していいかわからないでいる 高齢者の病気に対する安心対策としては、地域診療の適切な配置や、日常の相談所の設置、緊急時は夜間・休日対応の医療機関とのタイアップがあると良い
<p>子どもを支える</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校を中心とした地域活性化を進めるコミュニティスクール制度がある。小中一貫校にして、子供たちを9年間、地域が一体となって支え育てる制度である。小平市や三鷹市で例がある 不登校児についてはコミュニティ壁が厚い。地域からの呼びかけが重要だ

実 コミュニティの強化

(1) 助け合えるといいが 【近所づきあいが少ない地域も、自治会加入率も低下 など】

近所づきあい・コミュニティが希薄に

- ・ 近所づきあいが少ない地域がある
- ・ 自助だけでは限界である。公助や共助の概念のもとの施策が必要である
- ・ 東久留米市には外国人が多い。”多文化共生まちづくり”をかけた、外国人のコミュニティ対策を
- ・ 地域と若い世代との積極的な交流が望まれる。そのためには橋渡しが必要であり、その役割を青少年健全育成協議会に期待したい。しかしパワーが低下しているため活性化が必要だ
- ・ 自治会加入率が下がっている。加入の促進を望む
- ・ 自主防災組織のない空白の町会が多い。組織化の誘導で、自治会の維持・活性化に繋げるのがよい
- ・ 高校生の居場所がない。ダンスやバンドなどで練習する場所や発表する場所が欲しい。高齢者と同時に発表できるような場所が望ましい

(2) 地域の一体性を醸成する 【地域みんなで何かする、祭り、イベント、踊り など】

地域の一体性を醸成する
(イベントなど)

- ・ 懇談会参加にあたって子供と話をしてきた。子供が言うには「必要なのは心の充足」
- ・ 地域でみんなで何かをすることが重要。例えば祭り
- ・ 小学校や幼稚園で、共通の踊りができるなど、みんなで共有するモノが必要だ
- ・ かつて中学校単位で、青年会が中心となって祭りを行っていたが、今は殆どない。下里の氷川神社を中心に、かつての青年会が中心となって祭りを復活させる動きがある。大事にしたい
- ・ 市民祭りのようなイベントをもっと多く
- ・ かつて東久留米音頭があった。少し若者向きにアレンジして、何とか復活させたい
- ・ 東久留米音頭を市の踊りにし、また市のマスコットをつくるなど、地域よりも市レベルで市民の気を一にするモノがあるとよい
- ・ 720世帯が一緒になって、エリアを分けて草取りボランティアを続けている。高齢化し中々除草ができない面があるが、コミュニケーションの機会として重視している。顔を出して／顔を見にきて

実 安心して暮らせるまちづくりのために ～地域からのまちづくり～

(1) 地域主体で【地域で解決するしくみが必要、身近なまちづくりで意識向上】

地域主体

- ・ 地域の問題は、地域で解決する仕組みが重要だ。連邦制のように、地域間である程度の競争が発生しても良いのではないかと。地域から変えていかないといけない
- ・ 地域住民の意識を活性化するため、身近なまちづくりから取り組むのがよい

(2) 地域の住民協議会【住民協議会、若者のまちづくり提言の場、パブリックサポーター など】

地域の住民協議会

- ・ 市内7地域において、地域単位のボトムアップが必要だ。住民自らが住民協議会をつくり、常設して地域のまちづくりに取り組むのが良い
- ・ 若い世代が住み続けたいと思えるまちを目指すには「自由に活動できる場などの整備」の内容をもっと具体的・明確にすべき
例えば、20代、30代の市民男女20名位で委員会を作って市のまちづくり施策に提言参画できるようにする
- ・ 市民の貴重な意見を権限を持つ担当者を取次ぎ、意見交換のパイプ役としてのパブリックサポーターを、地区センター毎に配置して広報で周知させれば声なき声を吸い上げる
- ・ 多世代が入りやすいテーマを選ぶ。例えば防災など
- ・ 楽しい仕組みが重要
- ・ 一方で、プライバシーへの配慮
- ・ 若者がコミュニティに入れるきっかけがない。楽しい場であったり、コミュニティツールとしてインターネットなどの活用の仕組みがあるとよい。若者が入ると世代間の隙間を埋めることができる

(3) 地域活動の施設の確保

地域の活動施設の確保

- ・ 住民会議を常時行えるよう、集会所の設置を望む
- ・ 互いに顔の見えるふれあいの場が必要。今のまちサポでは場がないため顔が見えない
- ・ よろず相談所的なことができるコミュニティセンターであるべき
- ・ コミュニティレストランなどができる住民主導の場であるのがよい。地産地消による地域プロデュースの視点が望ましい(一定の収益がないと続かない。Win Winがよい)
- ・ センターの機能の整備にあたっては、行政や仕組みや仕掛けづくりを行い、あとは市民が運営する形がよい
- ・ 気軽に人が集まれる場所がない。10人、20人程度が集まれる所をつくってほしい。
- ・ 会議をする場は、箱物といった感じではなく、机と椅子がいくつかあり電話があるような”場”で十分

まちサポの活発化

- ・ 市内にNPOなどが300～400位あるが、地区センターでは把握できない。まちサポ(市民活動支援センター)を活発にして欲しい。10年位前にできたがハード部分はダメだった
- ・ まちサポは、今の仕組みの状態でも、NPOはリードできない。市のきちんとした位置付けが必要である

(4) 既存施設、新たな開発の有効活用

既存施設の有効利用

- ・ 財政危機にあることについて、市民意識が希薄である。これを共通の認識にした上で、施設をどうするかを検討していくべきである
- ・ 学校跡地や教室の積極的な有効利用を。そのためには教育委員会との連携が必要
- ・ 学校施設を、地域でも有効に活用する
- ・ 閉校して売却しないこと。拠点として活用すべき
- ・ 前沢においては、幼稚園跡地や児童館の利用

イオン開発にあわせて

- ・ イオンの地域貢献を生かし文化的な施設づくりをのぞむ

6 駅前に求められる役割【映画館・文化機能、東口の整備がポイント など】

<p>駅前に欲しいもの</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 映画館、美術館、コンサートのできる文化ホール。カルチャーやアート、ホテル、充実した図書館を ・ 若い人を集めることが重要なため保育所や託児所。Emioは良い。Emioで少しは賑わいができた ・ 下里の農産物を直接販売 ・ 借地の自転車置き場がなくなり、自転車置き場が不足している。コンパクトなまちづくりにするためにも台数確保が必要ではないか ・ 観光案内人(コンシェルジェ)が欲しい ・ 駅前広場は、緑の木陰や、高齢者が休憩できるベンチがあるとよい ・ 東口駅前～浄牧院に開閉式アーケードを整備して、にぎわいづくりをしてはどうか
<p>空き店舗活用の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政などの出先機関を ・ チャレンジショップの展開を ・ 交流施設を
<p>駅東口の活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北口の閉鎖で商店街の活気がダウンした ・ 東口(北口)の整備がポイントで可能性大。促進のためには商店会の意識改革が課題 ・ 祭りによる活性化が重要と思うが、主催者である駅前商店街と門前商店街の一体性が課題
<p>西部や中央部の人たちの利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西部や中央は、西武池袋線に流れている ・ 市外ではあるが花小金井駅に出先の行政版ATM(無人証明発行機・情報センター等)があると便利で良い

実 防災・防犯が重要、公害対策も ⇒ 防災・防犯は安心の上位のはず	
防災・防犯の視点がない	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマが安心であるなら、防災・防犯が上位にくるべきだ ・ 暮らしやすさと安心・安全は別項目ではないか ・ なぜ、安心から、防災をはずしたのか
(1)防災【災害対策マニュアル、防災マップ、ブロック塀の生垣化】	
災害対策マニュアル作成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害対策ではできるだけお金をかけず備えることが重要だ。そのためにはマニュアル作成や地域での普段からの話し合いが必要だ
防災マップの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災マップ作成にあたっては、自治会などがもっているデータが重要だ。みんなでマップを作成するなど過程も重要だ
ブロック塀の生垣化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東久留米市耐震改修促進計画の策定過程において、ブロック塀の倒壊による危険性が高いことが分かった。生け垣にするなど対策が必要だ
(2)公害対策【ごみの焼却、アスベスト問題、大規模開発による自動車問題】	
公害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前沢3丁目ではアスベスト問題が発生している。現行都市マスでは住工共存市街地のまちづくりの方向性が記載されてあるが、これに該当する前沢3丁目は解決されなかった。今後どうするか ・ イオン開発により1700台の駐車場ができる。また荷さばきのための自動車が1日に約200～250台発生する。環境汚染が心配である ・ 柳泉園組合で行われているゴミ焼却で、化学物質や重金属が排出され、乳幼児や胎児に対する害は大きい。ゴミ焼却を中止すべきだ。ゴミを燃やさない処理で、その処理費を地元で落とすシステムをつくるべきだ。 ・ 生ごみは水分80%、燃やすためにプラスチックを投入しており、環境破壊に繋がる。新システムを！ ・ 南町でぜんそく児が増えている。どういう状況か情報を示して欲しい ・ ぜんそくは、自動車交通などによる砂塵によりおこる。妊婦を通して胎児の脳に侵入する
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川という資源がある。災害時に水源がある東久留米市は非常に強みがある ・ PTAで街なかのバリアフリー点検などを行い、行政など関係所管に提言しているが反応が今いち ・ 街なかにもっとAEDの設置を

テーマ⑧ CO₂の発生の少ない低炭素型まちづくり

1 公共主導で対応すべきこと

(1)CO₂の発生の少ない土地利用、施設・機能配置

施設の集約配置を	<ul style="list-style-type: none"> 施設の集約配置で移動を少なくする
農地	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地の緑化。年中緑多い農地であって欲しい 農地を減らさない。このため農業振興が重要で、指導員の充実が必要。また地産地消を推進

(2)自動車交通の削減【自動車からの転換、電気自動車の普及 など】

道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> 自動車が利用しにくい道路にしていくべきである。ハンプ、時速20kmなど速度規制、一方通行、狭さくなど。モラルも重要だが、このような強制的な施策が必要だ 自動車から自転車や徒歩に転換しやすい環境づくりが重要だ
乗りもの	<ul style="list-style-type: none"> 電気自動車の普及 乗り合い自動車(カーシェアリング)を導入したらよい

(3)節電、施設・設備からの排出削減【自然エネルギー活用、節電など】

	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設は太陽光発電装置の積極的な導入を まず市庁舎が太陽光発電を 第一小学校を建て替えたとき、何故太陽光発電を設置しなかったのか。今後、建て替えのチャンスを逃さないように 河川に沿って風力発電 既存の研究機関や企業と連携した、太陽光・風力発電所 市がエコシティ宣言をし、東久留米市5万1千世帯にスマートメーターを無料で配布し、エネルギー効率を高める誘導をする さらにスマートシティ(最新技術を駆使してエネルギー効率を高め、省資源化を徹底した環境配慮型の街づくり)をめざす。このため、アドバイザーなどエコ人材の育成と活用を推進 学校の教室へのクーラー設置の話があるが、これは温暖化を増長することになるため、その前にやる必要があるだろう。例えば、スプリンクラーの設置やグリーンカーテン、屋上にソーラー発電など 公共建築物の夜間のライトアップは不要である。節電してもらいたい 街路灯のLED化が重要だ
--	---

(4)資源循環(3R)【ごみ削減、既存施設の有効活用】

	<ul style="list-style-type: none"> 学校で生ゴミ処理機を導入し、子供たちが家庭の生ゴミを持ち込み処理し、その堆肥を農家に提供し、生育した野菜などを学校給食で頂くという仕組みが考えられる 祭りでのゴミを減らすため、マイ箸、マイ容器持参にする活動を進めるのがよい 家庭ごみ、事業系ごみの減量化対策 既存施設の有効活用
--	---

テーマ⑧ CO₂の発生の少ない低炭素型まちづくり

(5) 緑化・風の道（兼ヒートアイランド対策）【緑化、街路樹整備、校庭の芝生化、風の道 など】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 六仙公園を整備する場合は、緑(樹木)に配慮すべき ・ 市役所で実施したグリーンカーテンの企画は良かった。また市がゴーヤやヘチマを配り、緑化を誘導していることは良いと思う。まずはこうした小さいことから始めるのがよい ・ 補助金をしっかりもらって公共施設の緑化を進めるべき ・ 道路を整備したら適切に街路樹を植えるなどの対応をすべきである ・ 道路を整備したら、街路樹を植える。このため電線を地中化する ・ 学校のグラウンドの芝生化を進めるべき ・ 緑化の義務付けを条例化する ・ 暗渠の川を開渠にして冷たい風をながす(市内には8本の川があったが内4本がいま暗渠) ・ まちをアスファルトやコンクリで覆わない。
(6) 排出権取引	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ CO₂の排出権を売れるようにすべき
2 家庭ですべきこと 【緑化、井戸水活用、3R、省エネや自動車利用の課題は都市計画でも対応を】	
緑化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木を植える。プランターでもよい。こうした緑化を義務づける ・ ブロック塀は生け垣にする
井戸水活用・雨水浸透	<ul style="list-style-type: none"> ・ 井戸水の活用 ・ この40年間、水道水を屋根までくみ上げ太陽熱で暖め、風呂湯として使っている。シンプルで壊れない ・ 雨水浸透枳の普及 ・ ゴミBOXは景観阻害、また歩行障害となる。できるだけ場所をとらないよう、ゴミを削減する
ライフスタイルの誘導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3Rの推進 ・ PRが重要 ・ ゴミの削減を誘導する包括的な対策 ・ ゴミ分別の徹底が重要で、このため周知をしっかりと行うべきである ・ 省エネや車利用など家庭での課題も都市計画に反映を
3 企業に対しては 【大企業の緑化の義務づけ】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大型の施設をもつ企業は緑化の義務づけを
4 団地での対応 【カーシェアリングや地域冷暖房の導入】	
団地建て替えに合わせて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団地建て替えに合わせて、地域冷暖房を導入したらよい ・ 乗り合い自動車(カーシェアリング)を導入したらよい